

エネルギー

継続的に電力供給可能なガスハイドレート回収装置

発明の名称	ガスハイドレート回収装置		
出願人/権利人	辻本 嘉義	発明者	辻本 嘉義
出願日	平成29年3月17日	出願番号	2017-052077
公開番号	2018-155003	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図

図面なし

発明の概要

電力を遮断しない自然エネルギー発電によりガスハイドレートを回収する装置

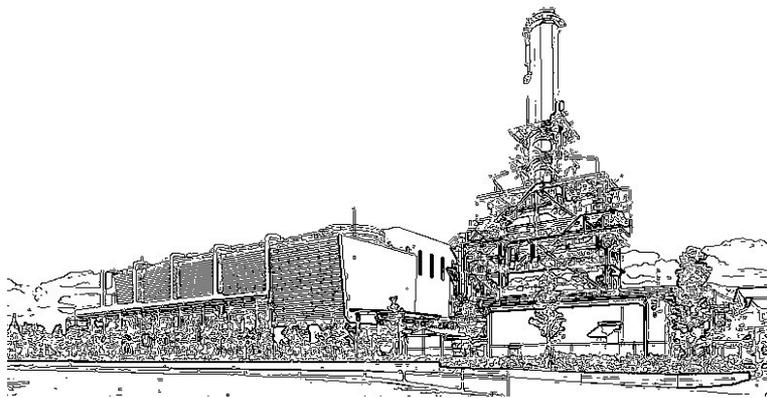
特徴

日本の排他的経済区域に推積しているガスハイドレートをエネルギーとして有効利用することが求められている。本発明は、気化したガスを回収する新規なガスハイドレート回収装置である。遮断することなく供給される継続的電力供給手段には波力発電あるいは深層水温度差発電がある。太陽光発電や風力発電のように電力が遮断される自然エネルギー発電手段の場合には蓄電装置が備えられており、気体排出開口から排出されるメタン等のガスは、当初は空気ではあるがガスハイドレートが気化した気体を気体排出開口から連続して間断なく排出可能になる。

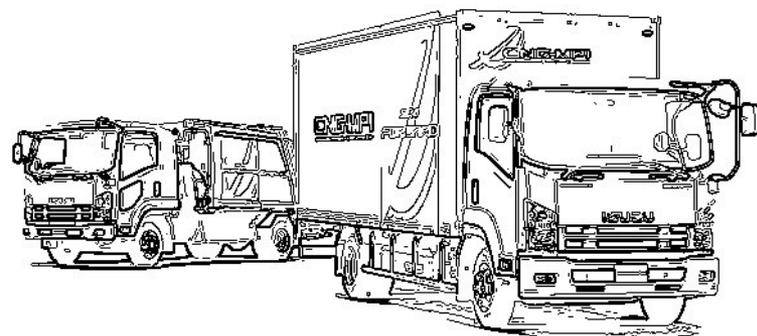
関連分野

業務用機械、業務用機械、電気機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、運輸サービス、建設・土木

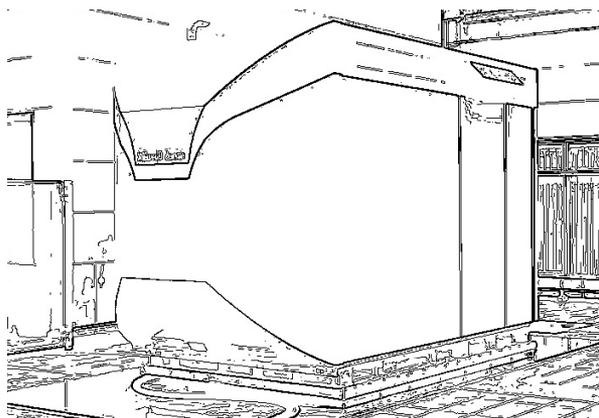
応用の可能性



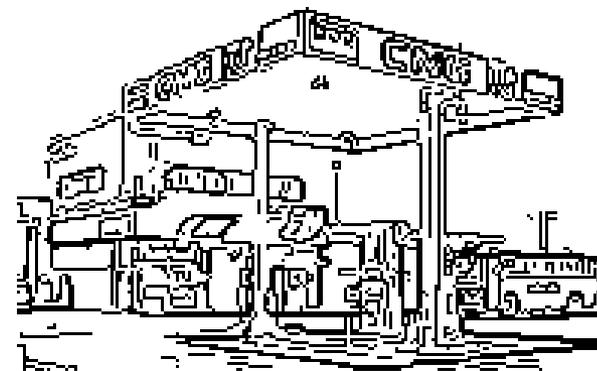
火力発電



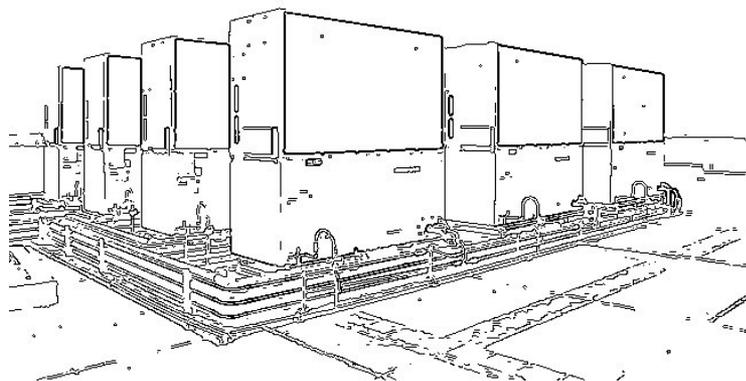
天然ガス自動車



(ビル・工場用)燃料電池



天然ガススタンド



ガス冷暖房

など

応用の可能性

- ・火力発電
- ・天然ガス自動車
- ・天然ガススタンド
- ・ガス冷暖房
- ・燃料電池
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・いすゞ自動車株式会社 | ・大阪ガス株式会社 |
| ・ダイハツ工業株式会社 | ・東京ガス株式会社 |
| ・トヨタ自動車株式会社 | ・東邦ガス株式会社 |
| ・日産自動車株式会社 | ・中部電力株式会社 |
| ・東京電力ホールディングス株式会社 | ・北陸ガス株式会社 |
| ・関西電力株式会社 | ・ダイキン工業株式会社 |
| | など |

辻本 嘉義の本発明に関する最新動向

- ・本件特許に関連する動向情報はインターネット上では見受けられない。